

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫しているところ
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	○			基準に基づいた設備となっています。利用児に合わせて環境の設定を行っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			基準に基づいた職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			今後も引き続き行っていきます。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		今回より実施。不十分な点について整理し、改善していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今回より実施。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		体制を整えていきます。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			既存の研修会の参加、また他事業所との交流研修を実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現行のもののみでなく、他のアセスメントツールの検討をしていきます。
	⑪	児童発達支援計画には児童発達ガイドラインの「児童発達				ガイドラインに基づいての適切な支援内容になるよう今後も意識していきま

適切な支援の提供		支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			す。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動内容の検討、振り返りをその都度行って活動を進めていきます。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節などに応じた内容を取り入れています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			個別、小集団での活動の振り返り、また、保護者からのお話等共有するようにしています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑲	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉒	医療的なケアが必要な子ども				該当がないですが、その場合には連携し

や保護者との連携		や重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		ていきます。
	②③	医療的なケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		該当がないですが、その場合には整えています。
	②④	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等の中で移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて関係機関と連携をとっています。
	②⑤	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて関係機関と連携をとっています。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		事業所から出向いていくことはありません。利用されるお子さんが園に通われているか子育て広場を利用されています。
	②⑧	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			振り返りや連絡帳を利用し丁寧に行っています。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			ペアレントプログラムのような研修会を今年度2回行いました。今後も続けていきます。周知が不十分だったようなため、情報提供をしていきます。
	③⑪	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明	○			

		を行っているか				
保護者への説明責任等	③②	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③③	保護者からの子育ての悩みに等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		ペアプロのような研修会を行った際に茶話会を行い、保護者同士の話せる場を持ちました。今後も行っていきます。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑥	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		不十分だったため、ホームページ等利用し情報発信に努めます。
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	③⑧	障害がある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		法人本体での行事はありますが、事業所自体では行っていません。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員は周知できていますが、保護者の方に周知できるようにしていきます。
	④⑪	災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			

非常時等の対応	⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		
	⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達計画に記載しているか		○		該当がありません。